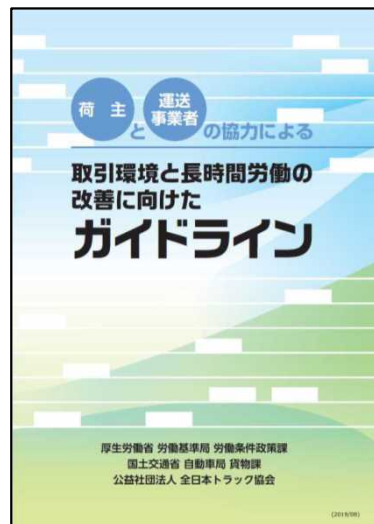


「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」について

- ▶ トラック運送事業における取引環境の改善及び長時間労働の抑制に取り組むため、厚生労働省、国土交通省、学識経験者、荷主、トラック運送事業者等により構成される「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を中央及び各県に設置。
- ▶ 荷待ち時間の削減や荷役作業の効率化など長時間労働の抑制を図るためのパイロット事業について、平成28年度及び29年度の2か年度にわたって47都道府県で102事業を実施。
- ▶ その成果として、さまざまな地域・荷種・取組方法による、計100件を超える事例を収集、その成果を「ガイドライン」および「事例集」としてとりまとめ、公表。

【ガイドラインのイメージ(予約受付システム導入の例)】



対応例 1

予約受付システムの導入

- 先に到着したトラックから順番に荷積み・荷卸しが行われる場合には、早い順番を取るために多くのトラックが集荷先・配送先に必要以上に早く到着する場合がありますが、荷出し・荷受けについては処理能力の制約があるため一定のペースでしか行えず、結果として、長時間の荷待ちが発生する可能性が高くなります。
- こうしたケースでは、予約受付システム等を導入・活用して、パース毎での荷役予定時間をあらかじめ決めることにより、
 - ① トラック運送事業者による到着時間を見越した運行計画の策定
 - ② 荷主側による庫内作業の準備が可能になり、荷待ち時間を減らすことができます。
- 荷主にとっては、あらかじめ庫内作業の準備を進めることにより、荷役作業を効率化することが可能になります。

物流施設

16

参考事例① 一貫パレチゼーションと受付予約システムで着荷主滞在時間を短縮 山梨県 事例数 11件

成功のポイント

- 同一のパレットを共同利用するパレットプールシステムを採用した
- 発・着荷主、トラック運送事業者の三者で話し合うことにより、方向性と課題を共有化できた

Before

After

参考事例② 外部倉庫と情報システム活用による荷待ち時間の削減 福井県 事例数 7件

成功のポイント

- 発荷主が外部倉庫活用を前提とした生産計画の組み換えを行った
- 元請事業者が入退場・進捗管理システムを構築し、トラック運送事業者に公開した
- 実運送事業者がシステムを活用して、ドライバーの出発時刻の調整を行った

Before

After

17



○事例集は分野別になっております

- ・農・水産品
- ・金属機械工業品
- ・科学工業品
- ・軽工業品
- ・雑工業品

○ガイドライン・事例集はこちらに掲載しております
 トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会
http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000022.html